

メッセージふろむサンシド

発行者：三資堂製薬株式会社 住所：〒655-0005 神戸市垂水区潮見が丘 1-1-10 TEL078-708-5121

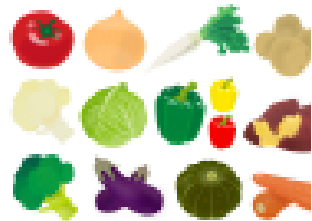
若々しく生きる

糖質、たんぱく質、脂質、ビタミン、ミネラル、食物繊維が六大栄養素と言われるのは、「存在だ」と思いますが、通常の身体維持機能に必要な、植物に秘められた不思議な力として注目されているのがファイトケミカルです。

ファイトケミカルとは、ファイトケミカル語で「植物」を意味し、ケミカルは化学分子という意味ですが、ここでは栄養素を意味します。つまり植物栄養素という意味です。これは必須栄養素と違って摂取しなくても身体に何ら影響はありませんが、ファイトケミカルを摂取することによるメリットは計り知れないものがあるようです。その成分は、野菜や果物などの色や香り、苦みが素となっており、その種類は数千〜数万種類にも及ぶと言われています。例えば、トマトに含まれるリコピン、お茶のカテキン、ゴマのセサミン、大豆のイソフラボンなどがあります。

このファイトケミカルには、強い活性酸素吸収力があることが明らかになってきました。活性酸素とは、体内に侵入する細菌を撃退する免疫システムとしてその際に細胞内の脂質やたんぱく質、DNA等も酸化し損傷させてしまいます。このように人間も少しずつ身体が酸化されていき老化していきます。したがって酸化＝老化とも言えます。活性酸素は、激しい運動や睡眠不足、ストレス、喫煙、飲酒、紫外線、放射線などで一層増加します。そうなる前、シミ・そばかすの原因になったり、老人性認知障害、生活習慣病、癌などのリスクも高まります。この様な症状を防ぐ方向に持っていくのが、ファイトケミカルなのです。その効果は活性酸素の除去だけでなく、傷ついた細胞の修復、免疫力を高める、老化防止など様々です。

日本食は米を主食とし、豆・魚・海藻・野菜などをたっぷりととり入れた食事が特徴で、長寿食として世界中から注目を集めています。現在では、食事も国際化が進んでいますが、素晴らしい日本食を見直し守っていくことが、健康長寿にも繋がっていくのではないのでしょうか。



年齢を重ねた大人髪用

スタイリング剤誕生

髪のポリウムが気になり始めた大人のためのスタイリング剤が誕生しました。

- 髪が細くなってきた
- 髪のポリウムが無くなってきた
- 髪がパサつきがちで艶が無くなってきた
- ヘアクリームを使うと髪がペタツとしてしまう
- スタイリング剤による頭皮のトラブルが気になる
- 髪質にあったスタイリング剤が見つからない

こんな方のために作られた新感覚のスタイリングクリーム「ポリウムアップ スキヤルクリーム」は、頭皮のトラブルを気にすることなく地肌から髪まで塗布できます。だからケラチン蛋白の力で髪を根元からふんわりポリウムアップさせ、髪のダメージを修復すると共に、椿油が髪に艶を与え、コラーゲンや亜鉛酵母エキス、さらにはATPの働きで頭皮も同時にケア出来るのです。

「ポリウムアップ スキヤルクリーム」は髪と頭皮を同時にケアしながら根元からポリウムアップさせる、まさに大人髪専用のスタイリング剤です。容量145g (標準使用で約二か月分) で、¥2800(税抜)です。



ミニ百科ーピラミッドその12

ピラミッド・パワー

ピラミッドには何か不思議な力が作用しているのではないか。このことに最初に着目したのは、フランス人のアントワーン・ポピーという人です。ポピーは大ピラミッド内に入った時に、王の間であるものを発見しました。王の間は大変高温湿度だったのですが、そこで見つけた小動物の死骸は腐敗せずにひからびていたのです。

ポピーのピラミッド・パワーについての報告は大変な話題を呼び、ピラミッド型の模型を使った実験などが多数行われました。そして、模型の中に置いた卵や肉は鮮度が落ちなかったとか、牛乳が腐らせずに乾燥した、使用済みの剃刀の刃が何度も使えるようになった、といった結果が得られたそうです。こうした実験結果はいくつも報告されていますが、ピラミッド・パワーの実態が何であるかということは、まだ解明されていません。



一口メモ



いきいきライフのためにー高齢者のふらつき・めまいの特徴

【脳血管障害】

中高年で高血圧や糖尿病などの基礎疾患のある人が、比較的急にふらつき、めまいを訴えた場合は、脳血管障害の可能性がります。特に、構音障害（ろれつが回らないこと）、複視（物が二重に見えること）や、半身の脱力や痺れ等の脳血管障害を強く疑う随伴症状がある場合には、すぐに受診することをお勧めします。対応する科は、脳卒中内科、神経内科、脳外科等病院により異なる場合がありますが、脳血管障害の診断・治療は一刻を争います。

診断には、脳出血の場合は頭部CT、脳梗塞の場合は頭部MRIやMRA検査が行われます。脳梗塞を起こしている場合には、血液を固まりにくくする薬剤の点滴治療が行われます。尚、心房細動という不整脈をもっている人が急に激しい「めまい・嘔吐」を訴えた場合には小脳塞栓の可能性があり、注意が必要です。

